

軽井沢治育園だより

No.37

軽井沢治育園だより 第37号 … 発行日/2020年11月1日 発行/軽井沢治育園
〒389-0115 北佐久郡軽井沢町大字追分1607-4
TEL 0267(46)2485 FAX 0267(46)2486



軽井沢治育園と版画のあゆみ	2ページ
グループホーム開設から3年経ちました	3ページ
行事	4~5ページ
畑の様子・感謝録・訃報	6ページ
新人紹介	7ページ
行事報告	8ページ

(前号からの続き・昭和59年4月刊行)

軽井沢治育園と版画のあゆみ

故 後藤 静一氏

(愛泉会初代理事長)

軽井沢治育園の誕生

昭和二十三年のはじめ、愛泉会は軽井沢の施設を閉鎖し、神奈川の葉山に移転することとなった。その年の4月1日から児童福祉法が施行され、県下に唯一か所の精神薄弱児の施設として、すでに長野県の子どもも4人保護されたいとあって、関係方面から強く存続が要望され、長野県や軽井沢当局、関係者の援助で「軽井沢治育園」が誕生した。

軽井沢治育園という名称は、私が名付けたものであるが、そこには知的障がいという障害を軽減し、障害のためにおこるさまざまな問題行動を改善しようという願望がこめられている。

創立当時の定員は21名だった。児童福祉法が施行されたばかりで、しかも長野県に唯一か所というだけで、開園早々、申込みは殺到した。飯田、木曾、飯山等県下各地から入所した。

私は、受入について次の条件を

申し入れた。それは知的障がいだけでなく、片親欠損家庭とか困窮を優先して入所させて欲しいということである。知的障がいのために義務教育を免除されたり、就学を猶予されたりした子どもを抱えた片親家庭の親は働けない、施設に預けるだけで助かるだろうと考えたからである。初めから知的障がいの子どもの教育に自信のない私は、まずそんな面で家庭や、地域社会のお役に立てたらと考えたのである。

しかし、結果的には私が申し入れた条件は殆ど無駄だった。そうした子どもの養護の困難性は、そんな単純なものではなかった。障害の極度に重い子どもや、興奮、情緒障害など他の障害を併せ持っている子どもや、放浪徘徊など問題行動を持った子どもの場合、家族構成や経済的理由以上に深刻な状態であった。したがって、経済的に豊かな家庭や、社会的にも地位のある家庭の子どもを、どんど

ん送られてきた。ただ食べさせて保護してあげればそれでいいだろうという安易な考えはすべり出しから否定された。保護するとしても教育する環境整備が急がれた。

治療教育的環境を求めて

衣・装・住さえ確保すれば何とかなるだろう、と安易な考えの許されないことを知った私は、全国にまだ数少ない先輩施設を見学したり、先輩達の教えを積極的に乞うた。

児童福祉法によって、精神薄弱児施設には精神科医を嘱託でおかなければならない決まりだったので、思い切って東京の松沢病院を訪れた。院長は「丁度いい。あなたと同年齢で同姓の人を紹介しよう。」と封筒に入った一通の履歴書を渡された。当時私は26歳だった。それ以来、その東大での、私と同姓の精神科医には35年間、当園の嘱託医をしてもらっている。

「あなたとご兄弟ですか？」とよく尋ねられるが、全国的にも有名な精神科医で、光栄に思うことがしばしばある。「あのとき、他の目的で履歴書を院長に渡しといたんですよ。」どんな目的かについて

何わなかったが、人の縁とは思議なものである。軽井沢町内の内科の嘱託医、親子二代にわたってお世話になっている。大先生は既に亡くなられたが、ご息子が町立病院のお医者さんである。当園の子どものことを一番理解してくれているやさしいお医者さんである。

次号につづく

(三ツ石地区に移転前の
軽井沢治育園(泉の里))



グループホーム開所から

3年目になりました

グループホームミズナラは、この5月で開所から3年目を迎えました。現在5人の入居者さんが、世話人さんの支援を受けながら生活しています。

当初は生活をどう組み立てるべきなのか当時の担当者と手さぐりで考え、開所後も予想外の連続で、悩みながらも入居者さんと一緒に、少しずつ今の生活を組み立ててきました。最近ようやくミズナラの生活の流れがスムーズになり、昨年度は少しずつグループホーム独自の行事や活動を始め、今年度は新型コロナウイルス感染症の対策をとりながら活動を行なっています。

この3年間を振り返ると、入居者さんの眠っていた力や、私が気づいていなかった力に何度も驚かされ、また励まされてきました。

入居されている方の中には、児童期から軽井沢保育園に入所されていた方もいます。当初は不安も感じましたが、実際に入居されてからのみなさんの変化に大変驚かされました。ある方は、保育園での生活では日常の殆どどの場面で

介助が当たり前の生活を送っていましたが、入居してからは他の方たちを追いかけようと思えることをやろうとし、最初は洗濯ばかりで靴下を干せるのがやっとだったのが、今ではハンガーでシャツが干せるまでになりました。

ある方は、周りの利用者を気にしていない人と思っていました。が、今では他の入居者の様子を見配りし、落ち込んでいる人には優しく「大丈夫!」と声を掛ける、みんなのまとめ役になりました。昨年は保育園の旅行にミズナラ全員で参加しましたが、宴会の席でその方が、「ミズナラのみんなを今後もよろしく!」とお世話してくれた旅館の皆さん、ありがとう! (言葉が不明瞭な方なので、私の意識です)と叫んだ時は、感動していました。

入居者さんの生活も、この3年で変わりました。当初はみんなでリビングにかたまってテレビを観て賑やかでしたが、今では自分の部屋で趣味を楽しむようになり、リビングの周りは静かです。みんな自分の世界を持てるようになり、生活も変わってきたようです。これからも変化はあると思います。が、力を合わせて更により良い生活を目指していきます。

(高橋(幸))

グループホームでの

単独行事について紹介します

初めての単独行事は平成31年度の「佐久地区障害者スポーツ大会」への参加でした。短距離走やボール投げなどそれぞれ得意な競技にエントリーし、地域のたくさんの方々の施設の方々と一緒に体を動かすことを楽しむことができました。そして、ミズナラの仲間が出場するときには近くに行つて応援し、家族のような絆を感じました。

単独行事は入居者さんからも好評で「次はカラオケに行きたい」という意見が上がり、次はカラオケに行きました。ミズナラ入居者さんはみなさん歌が本当に大好きで、それぞれ好きな歌をたくさん歌って踊りました。



また、土日は、お弁当やおやつを持ってドライブにも行っています。今までに松原湖や内山峠、鹿沢高原に行きました。後部座席で入居者さん同士で協力しておやつを袋を開ける微笑ましい姿が運転

席から見られました。

外出する行事の他に、月に1回順番で夕食に好きなものをリクエスとして作ってもらう「希望食」も毎月楽しみにしています。また、グループホームでのクリスマス会やおやつ調理体験も行ないました。保護者の方もボランティアで参加していただき、おやつにクッキー、クッキー、お好み焼きを作つて食べました。土日の昼食に鍋パーティーや焼き肉パーティーもしました。



今は新型コロナウイルス感染症の流行の心配があるので、グループホーム内で楽しめる行事を今後も考えていきます。

(山本)



お花見

5月3日、治育園のグラウンドにてお花見を行いました。

この日は天気も良く、暖かい陽気でした。午前中は職員とA B班の利用者さんにも手伝っていただき、テントの設置とブルーシートを敷く作業をしました。

昼食はきれいに咲いた桜を見ながら、お弁当をおいしくいただきました。青空の下で外の風を感じながら食べるお弁当も気持ちが良いですね。
(竹之内)



レクリエーション会

5月24日に治育園の中庭にてレクリエーション会が開かれました。

オープニングを飾ってくれたのはおなじみのみんなのヒーロー、チイクレンジャーが駆け付け、利用者皆さんと一緒にラジオ体操を踊ってくれました。

皆さん元気よく踊っている姿がとても印象的でした！
続いては「ボール投げ」を行いました。



中心の高得点的に入れるのがなかなか難しく、利用者の皆さんそれぞれ独自の投げ方で競い合い、白熱した競技となりました。
続いては「クイズ」を行いました。



よく聞くと分かる問題から少しおかしな(?)問題まで、分かった時の利用者さんの笑顔いっぱい、手を上げる姿がとても素晴らしかったです。
続いては「シャボン玉遊び」を行いました。



中でも動物の形をしたモーターで動くシャボン玉機が人気で、利用者の皆さんが順番待ちをしている程でした。

続いてはリズムで「ステインアライブ」をみんなで踊りました。



皆さんとても上手に踊られており、音楽について行くのがやとな私にとって利用者の皆さんが輝いて見えました(笑)。

利用者さんの元気いっぱいな姿に、とても笑顔になるレクリエーション会でした。
(堀込)



七夕会

7月7日に七夕会が行われました。

各班ごとに分担して織姫、彦星、牛、天の川の壁面を制作しました。折り紙等を利用して利用者さんそれぞれ集中して作業に取り組みました！

壁面が完成すると皆さん笑顔になりました♪
(石川)



バーベキュー会

6月と9月にバーベキューをしました。まず職員が火をおこして準備をします。



その後は、利用者さん達と、ミールケアの皆さんと一緒に調理を行いました。



気合十分です!!

皆で協力して美味しくうな、お肉や焼きそばが焼けました。



美味しそうだなあ！
2回とも焼く時は天気が良かったのですが、食べる時には天気が崩れて、園内で食べました。



どこで食べても、自分達で焼いたお肉は美味しかったです！
(高橋(俊))



花火大会

今年の花火大会は新型コロナウイルスの影響もあり、残念ながら地域の皆様をお呼びすることができず、利用者さんと職員だけの開催となりました。制限された生活の中で行なった花火大会には、利用者さんの笑顔がいつも以上に華やかに見えたのを覚えています。
(滝澤)



ブルーベリー狩り

今年の夏も治育園で大切に育てたブルーベリーが実りました。収穫できたブルーベリーは、各班の皆さんで分け合い、凍らせたリ、そのまま食べたりして楽しんで食べる事ができました。「実がふっくらとしていて、甘くておいしい」と、皆さん大好評で、天気のいい日にはブルーベリー狩り体験もして、大満足でした♡

(依田)



花豆作り

軽井沢町は霧がよく巻き、花豆に適した環境です。そこで、「治育園で花豆の特産品に」という思いから利用者さんの小西勝一さんとの挑戦が始まりました。昨年度育てた花豆を種豆としました。

六メートル程の支柱を作り、ネットを張り、トンネル状にしました。

花豆の弦をネットに絡ませたり、草取りをしました。

夏には見事に育ち、緑のカーテンのトンネルが完成しました。



十月中旬頃になると花豆のさやが枯れ始め、さやごと収穫です。収穫した花豆のさやをよく乾かしてからさやをむく作業です。一番楽しい作業です。立派に育った花豆が沢山取れました。これは実は、十月現在での収穫です。あと三分の二ほど残っています。今年度は一部料理して花豆を味わうのが楽しみです。

勝一さん「早く花豆を食べてえなあ。」

今後、勝一さんとの挑戦が続きますので、今後も期待しながら応援してください。(川村)

計報

大藪 正勝さん

(大藪正雄さん父)

令和2年2月16日七十九歳で逝去されました。大藪さんには長きに渡り保護者会長を務めていただき多岐にわたりご協力いただきました。ご冥福をお祈りします。

感謝録

日頃より、保護者の皆様、地域の皆様にご厚意をいただき厚く御礼を申し上げます。

【物品寄贈】

○保護者の皆様

マスク、バスマット、色鉛筆

タオル、雑巾、衣類、野菜

お菓子、飲料 他

○地域の皆様・企業の皆様

アップルパイ、お菓子、マスク、

バスタオル、タオル、雑巾

衣類、本、マスク、帽子 他

○軽井沢町保健福祉課様 経由

ビニールエプロン、手袋

○厚生労働省

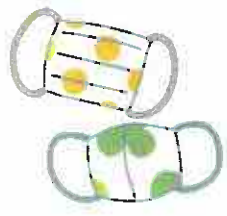
マスク

○町社協様経由 軽井沢町の皆様

マスク

今年は、新型コロナウイルス感染症予防のため、多くの方にマスクを寄付していただき、厚く感謝申し上げます。心のこもった手作りのマスクは色々な柄があり、利用者のみならず、ほんとても嬉しいように、毎日使

用しています。



新入職員紹介



今年度の4月から、治育園の生活支援員として働くことになりました。

した、鈴木健司です。

私は、4月に入職するまでに約1ヶ月間、実習をさせていただきました。実習中は、利用者さんとの関わり方や利用者さんを取り巻く環境調整をしていくことの大切さを学びました。今後は、知識を向上させていく気持ちをお忘れず常に目標を立てながら努力していきたいと考えています。皆さま、よろしくお願ひします。



4月から新入職員として入職しました。土屋怜奈です。

短大では保育を学んでいましたが、治育園で実習をして利用者さんと関わることに楽しさを感じ、笑顔と優しさに惹かれました。また、先輩職員が楽しそうに働いている姿を見て、ここで働きたいと思いました。利用者さん一人ひとりの個性を理解し、日々の生活が楽しいと思ってもらえるように支援していきたいと思ひます。笑顔

を大切に精一杯頑張ります。よろしくお願ひします。



6月より生活支援員として入職しました。宮川日菜子です。

働かせていただくなかで、利用者さんと職員さんのつくる、暖かくて活気のある雰囲気の魅力を感じ、「自分もその一員として頑張っていきたい。」という思いが強くなりました。利用者のみならず一人ひとりの好きなことや素敵なところなどを知ることができると、とても楽しくやりがいを感じます。まだまだ未熟ですが、利用者さんたちが、「ホッとしたり、楽しいと思ったりする機会を増やすことができるような支援員。」になれるよう頑張ります。皆さま、よろしくお願ひします。



山口千恵子と申します。以前掃除や洗濯の仕事をしていた

が一昨年一度退職し、昨年の1月に介護福祉士の資格を取得した後、高齢者の介護の仕事と父の在宅介護を経験し、今年の3月からまたパートで働かせていただいています。今は掃除や洗濯の仕事だ

けでなく利用者の皆さんの支援にも携わっているのですが、以前はあまり知ることがなかった皆さんの様々な個性に、日々新鮮な気持ちで楽しく関わらせていただいています。

今、障がいのある施設では「高齢化」ということが問題となっており、聞きますが、これから先私の介護の経験が少しでもお役に立てれば嬉しく思います。どうぞよろしくお願ひいたします。



7月から支援員としてお世話になります。和田美緒です。

私は小さい頃より治育園のクリスマス会や花火大会と行事に参加させていただき治育園には親しみがあり、利用者さんと関わる楽しさや少しでも人の役に立てる仕事が出来たいと思ひ、治育園で働きたいと思ひました。最初はなにも分からずどう接してよいかも正直分かりませんでした。利用者さんが教えてくれることも沢山あるのが利用者さんとこれから沢山関わりたい毎日を送っています。これからも正直分かっていただけるように頑張りたいと思ひます。よろしくお願ひします。



二度目の自己紹介となりますが鎌田菜央美です。2019

年9月8日に第一子となる男子(令和元年BABY)を出産し戻って来ました。1年経ち変わったことも多く、慣れるまでは時間が掛かると思ひますが、ゆっくり慣れていきたいと思ひます。楽しく！元気に！利用者さん達や職員の方達と過ごしていきたいと思ひます。改めてよろしくお願ひいたします。



令和2年3月1日よりパート職員として採用された大井博子です。

始めの頃は年長者でありながら何も解らない私に勤まるのだろうかと不安を感じていましたが、園長を始め、生活支援員の暖かいご指導と利用者さん達の笑顔に励まされ、あつという間に半年が過ぎました。今では毎日、皆さんの笑顔に会えるのが楽しみで園に通っています。これからも、今日も明日も明るく楽しくそして仲よく皆さんとともに過ごしていきたいと思ひます。今後よろしくお願ひいたします。

行事報告

(4月)

- 1日 新年年度開始
強度行動障がい支援計画シート運用開始
- 3日 感染症対策委員会
屋根改修設計監理契約
- 4日 誕生会・避難訓練
生活介護新規利用契約2名
- 7日 非常通報装置定期点検
勤怠ソフト点検
- 8日 検査冷凍冷蔵庫保守点検
支援会
- 9日 就職希望者施設見学
就職希望者打ち合せ会(井出)
- 13日 利用者健康診断
感染症対策委員会
- 17日 給食委員会①
職員会・世話人会・MMC来園
- 21日 職員会・世話人会・MMC来園
新任職員初出勤
- 28日 新任職員初出勤
給食委員会②
- 29日 千曲荘病院
坂口医院
佐久病院
浅間病院歯科
御代田記念病院
長士呂クリニック
通院延へ
通院延へ
通院延へ
通院延へ
通院延へ
通院延へ
1件
2件
4件
15件
2件

(5月)

- 1日 県知事協賛会(ZOOM)
GH利用者ケア会議
- 29日 浅間病院歯科
塩川歯科
坂口医院
井田医院
浅間南麓こもろ医療センター
歯科・精神科
小諸高原病院
通院延へ
通院延へ
通院延へ
通院延へ
通院延へ
通院延へ
5件
1件
2件
15件
3件
- 1日 法人監事監査
浴槽濾過機点検
- 2日 立科町支援区分調査
意思決定支援会議・支援会・浴槽水検査
- 3日 立科町支援区分調査
就職希望者施設見学
- 5日 法人評議員選任・解任委員会
バーベキュー会
- 11日 法人評議員選任・解任委員会
バーベキュー会
- 15日 給食委員会・空調点検
長野市支援区分調査
- 17日 職員会・世話人会・総合避難訓練
GH避難訓練
- 19日 MMC人事考課者研修①
感染症対策委員会
- 22日 利用者健康診断
強度行動障がい実行委員会(川村)
- 23日 入所利用者ケア会議
就職希望者施設見学
- 24日 法人定時評議員会(書面決議)
町社協評議員会(井出)
- 26日 草刈り作業
法人業務打ち合せ会(井出)
- 28日 佐久病院
井田医院
みよたファミリークリニック
小諸高原病院
御代田記念病院
佐久医療センター
坂口医院
浅間病院歯科
千曲荘病院
軽井沢圏クリニック
通院延へ
通院延へ
通院延へ
通院延へ
通院延へ
通院延へ
通院延へ
通院延へ
通院延へ
通院延へ
1件
1件
2件
2件
6件
5件
3名
1件
2件

(6月)

- 7日 セツ会・意思決定支援会議
支援会・利用者健康診断
- 9日 長野大学就職説明会(井出)
佐久ふくしネット運営委員会
人事考課者研修②
- 10日 浅間総合病院歯科検診(前期)
給食委員会
- 14日 感染症対策研修会・胸部レントゲン検査
グループホームクッキー作り
- 16日 自動ドア点検
職員会・世話人会・施設見学
- 19日 屋根改修工事一般競争入札(落札業者:
佐久市安井建設)
- 21日 佐久病院
軽井沢圏クリニック
御代田記念病院
坂口医院
浅間病院歯科
井田医院
通院延へ
通院延へ
通院延へ
通院延へ
通院延へ
通院延へ
8件
1件
5件
10件
10件
3件
- 4日 屋根改修工事契約
カーブミラー設置工事契約
- 6日 県知事協賛地域支援部会(井出他6名)
園内花火大会・意思決定支援会議
就職希望者施設見学
- 8日 県危機管理委員会(木曾)
厨房機器清掃
- 11日 強度行動障がい実行委員会(川村)
支援会・県行政説明会(井出)
- 19日 人事考課者研修③
県社協就職説明会(井出)
- 22日 町特定健診
就職希望者特定健診
- 24日 給食委員会
J-ICスクマナーシメント研修(井出)
- 26日 職員会・世話人会・消防機器点検
県保健部会(佐藤)
- 28日 法人業務打ち合せ会(井出)
就職希望者学生インターンシップ①(東京
福祉大学生2名)
- 30日 御代田記念病院
浅間病院歯科
坂口医院
佐久総合病院
小諸高原病院
佐久中央整形外科クリニック
長士呂クリニック
通院延へ
通院延へ
通院延へ
通院延へ
通院延へ
通院延へ
通院延へ
1名
3名
7名
8名
7名
1名
1名

(7月)

- 1日 上越市支援区分調査
カーブミラー設置工事
- 2日 支援会・夜間想定避難訓練
浴槽水検査
- 3日 就職希望者学生インターンシップ②
及び右面接(東京福祉大学生2名)
- 5日 体重測定
利用者健康診断・GH消防点検
- 7日 意思決定支援会議・定期清掃
給食委員会・県代表者会議(井出)
- 10日 職員会・世話人会・GH避難訓練
屋根改修定例会議①
- 17日 人事考課者研修④
GH手摺り設置工事
- 18日 掃除対策委員会
浄化槽ハキユーム清掃
- 24日 県知事協賛危機管理委員会(木曾)
厨房機器保守点検
- 25日 佐久医療センター
井田医院
坂口医院
御代田記念病院
浅間病院歯科
佐久総合病院
小諸高原病院
みよたファミリークリニック
長士呂クリニック
浅間南麓医療センター
浅間南麓医療センター
浅間南麓医療センター
浅間病院歯科
入院延へ
通院延へ
通院延へ
通院延へ
通院延へ
通院延へ
通院延へ
入院延へ
入院延へ
2名
1名
2名
2名
3名
2名
3名
5名
4名
5名
4名
1名
3名
4名
1名
1名
1名
1名

編集委員

山本、依田、高橋(後)
堀込、深町、滝澤、竹之内
鈴木、石川